

健康づくりの輪が広がります

合併により、旧町村地域の「保健委員」は「健康づくり地区推進員」に名称が変わりました。

健康づくりを支援します

健康づくりは市民一人ひとりが生涯を通じて、自分らしく健康で豊かな人生を送れるよう主体的に取り組む大切な課題ですが、こうした個人の健康づくりを支援する体制づくりも不可欠です。「健康」は夢のあるまちづくりの基本であり、鳥取市では「健康日本21」の趣旨に基づき、「日本一の心と体の健康都市」をめざして市民の健康づくりを支援しています。このまちづくりを進めるうえで重要な役割を担っているのが「健康づくり地区推進員」です。

地域の健康づくりのリーダー

「健康づくり地区推進員」はそれぞれの地域で住民のみなさんの健康づくりの輪を広げる活動に取り組んでいる健康づくりのリーダーです。

地域でみなさんの声を聞きながら、健康講演会を開催したり、各種検診の受診をすすめたりしています。健康づくり事業に関してのご要望など、気軽にお聞かせください。

「連携」と「協働」

市民のみなさんが健康的な生活を送るために、保健・医療・福祉・教育などの「連携」はもちろん、それぞれの地域の個性を大切にしながら地域間の「連携」もあわせて強化していきます。

また、健康づくりの主役は市民のみなさんです。市民と行政が健康づくりに一丸となって取り組む「協働」を大切にしていきます。そして、これらの「連携」や「協働」を

仲立ちするのが「健康づくり地区推進員」です。

健康づくりはより身近な地域から

市町村合併により、健康づくり地区推進員の取り組みが広がりました。今までどおりの地域の特性を生かした、身近な小地域での活動や地区単位での活動を計画するともに、健康ひろばや健康ウォークなどの全市民的な事業も計画しており、参加いただける機会が増えました。

身近なところで健康づくり

鳥取市に健康づくり地区推進員会が結成されて21年が経過しました。推進員活動が始まったころは、検診の受診をすすめる声かけが中心でしたが、少し前から、生活習慣病の発症を予防するための健康増進活動へと活動の重点が変化してきました。

昨年11月の市町村合併により新しい鳥取市が誕生し、この4月から私たち「健康づくり地区推進員」も1023人となりました。組織としては拡大しましたが、それぞれの健康づくり地区推進員は、ますます小地域での活動を大切にしていかなければと感じています。各地区の推進員が情報交換し、また、今までの活動を通して、地域での人と人とのふれあいが、人を内面から健康にしてくれるということも実感しています。私たちが企画する事業が、地域でふれあう絶好の機会となるよう、こころがけていきたいと思っています。

健康づくり地区推進員連絡協議会
会長 森 正一